

KODAK TRENDSETTER

Q1600 プレートセッター



KODAK
SQUARESPOT
IMAGING
TECHNOLOGY



Wスピードオプションをリリース
毎時31.2版の高速出力

競争力に富んだ大判プレート出力を実現

卓越した安定性、信頼性、品質

ベストセラーモデルのKODAK TRENDSETTER Q800と同じ、実績あるサーマルイメージング技術と高度なエンジニアリングを継承したKODAK TRENDSETTER Q1600プレートセッターは、大判プレートの生産現場に卓越した品質と信頼性を提供します。また、手頃な価格での提供を念頭に設計・開発しているため、オフセットのパッケージ印刷／商業印刷の分野で高品質と低コストを両立できます。

コスト効率良く生産性を向上

出力性能を高めたWスピードオプションを新たにリリースし、最高で毎時31.2版という高生産性を実現しています。セミオートのプレートローディング／アンローディング機能との相乗効果によって、生産効率は一段と向上します。また、KODAKプレートセッターならではの高い信頼性と安定性は、プレート再出力などの無駄を減らして稼働時間の向上に貢献します。導入価格も手頃なため、投資を迅速に回収できます。

リモートでの出力・監視が可能

オプションのKODAK Mobile CTP Control Appを使用すれば、スマートフォンやタブレット端末(Android・iOS対応)から、TRENDSETTER Q1600をリモートで監視・制御できます。刷版室の外や外出先からでも、CTPの稼働状況がリアルタイムで把握でき、アラートもすぐに察知できるため、CTPの稼働時間を最大化することができます。

フィルムイメージングオプション

フィルムイメージングオプションを搭載すれば、フィルム出力兼用機として運用でき、シルクスクリーン製版やフレキソ製版などフィルムを必要とする様々な製版分野のニーズに対応できます。(真空システム、フィルム見当補正センサー／インジケーター、デブリス集塵システム、外部吸引システムの各機器で構成)

正確で安定したイメージング

定評あるKODAK SQUARESPOTイメージングテクノロジーを搭載することで、プレート乳剤の感度や自動現像機／レーザー出力の変動といった品質への悪影響を最小限に抑えて、正確で安定したイメージング、高い露光精度を実現します。また独自の自動温度補正機能を備え、異なるプレート間、装置間でも正確で一貫したイメージングが可能です。こうしたKODAKプレートセッターならではの高い安定性が、再出力や感度調整にかかる時間と手間、コストを削減し、競合会社との差別化、ビジネスの成長に大きく貢献します。さらに5,080 / 4,800dpiの高解像度オプションを活用すれば、セキュリティ印刷や超高精細の美術印刷など新しいビジネス領域にも参入できます。

KODAKが提供するトータルソリューション

KODAKは、CTPからプレート、プレート搬送ライン、ワークフローまで完全に統合されたトータルソリューションを提供するシステムベンダーです。世界中で24,000台を超えるサーマルCTPの導入実績、世界各地のプレート製造拠点、そして高度な専門技術と迅速なレスポンスのサポートネットワークを誇り、大判プレート製造に関わるお客様にとって理想的なパートナーです。



KODAK TRENDSETTER Q1600 プレートセッター

一般仕様	
テクノロジー	KODAK SQUARESPOT イメージングテクノロジー、830nm 赤外線レーザー、外面ドラム方式
ロード/アンロードシステム	セミオートのプレートローディング/アンローディング
パフォーマンス仕様	
生産性 ^{※1,2} (2,400dpi) プレートサイズ 800×1,030 mm	F スピード : 毎時 11 版 X スピード : 毎時 19 版 W スピード : 毎時 31.2 版
生産性 ^{※1,2} (2,400dpi) プレートサイズ 1,325×1,650 mm	F スピード : 毎時 7.9 版 X スピード : 毎時 14.8 版 W スピード : 毎時 24.3 版
再現性 (繰返し精度) ^{※3}	同一版への 2 重露光で ±8 ミクロン
出力精度 ^{※3}	イメージサイズと形状で ±30 ミクロン
見当精度 ^{※3}	露光イメージとプレートエッジ間で ±25 ミクロン
ワークフロー製品との接続	TIFF ダウンローダーソフトウェアを搭載した KODAK プリントコンソールを標準で付属 KODAK PRINERGY ワークフローシステム及びほとんどのサードパーティ製ワークフローシステムとの接続が可能 オプション : • JDF / JMF コネクションオプションにより、KODAK プリントコンソールからジョブ及び CTP の稼働状況を提供可能 • KODAK Mobile CTP Control App で、CTP 出力状況の遠隔監視及び再出力操作が可能
イメージング仕様	
解像度	標準 : 2,400 / 1,200 dpi オプション : 2,540 / 1,270 dpi (W スピードは除く) 高解像度オプション : 5,080 / 4,800 dpi (W スピードは除く)
スクリーン線数	AM : 最大 450 lpi (標準) FM : 25 / 20 ミクロンの KODAK STACCATO スクリーニング (オプション)
最大プレートサイズ ^{※4} (ドラム円周方向 × 軸方向)	1,325×1,650 mm
最小プレートサイズ ^{※4} (ドラム円周方向 × 軸方向)	394×394 mm
最大イメージエリア ^{※4} (ドラム円周方向 × 軸方向)	1314.9×1,650 mm
外形寸法/重量	
外形寸法(高さ × 幅 × 奥行)	120×254×181 cm
重量	990 kg

TRENDSETTERはクラス1のレーザー製品で、欧州のEN60825-1および米国の連邦規則21 CFR 1040.10-CDRHに完全に準拠しています。

※1 イメージング時間は、メディアの感度とスクリーニングの種類によって異なります。上記の表はKODAK TRILLIAN SPプレートの生産性を示しています。

※2 コダックワークフローでテスト済み。

※3 仕様は、全環境温度範囲にわたる最大プレートサイズでの性能に関するものです。

※4 標準プレートゲージは、0.2~0.4 mm (0.008~0.016インチ) を使用しています。



KODAK.COM/GO/CTP

©Kodak 2021. Kodak, Prinergy, Staccato, SQUARESpot, Trendsetter およびKodakのロゴは、Kodak社の商標です。



コダック ジャパン

<http://www.kodak.co.jp>

〒140-0002 東京都品川区東品川4-10-13 TEL.03-6837-7285(営業代表)
大阪:050-3819-1266 名古屋:050-3819-1265 福岡:050-3819-1270
仙台:050-3819-1255 札幌:050-3819-1250

2020-07